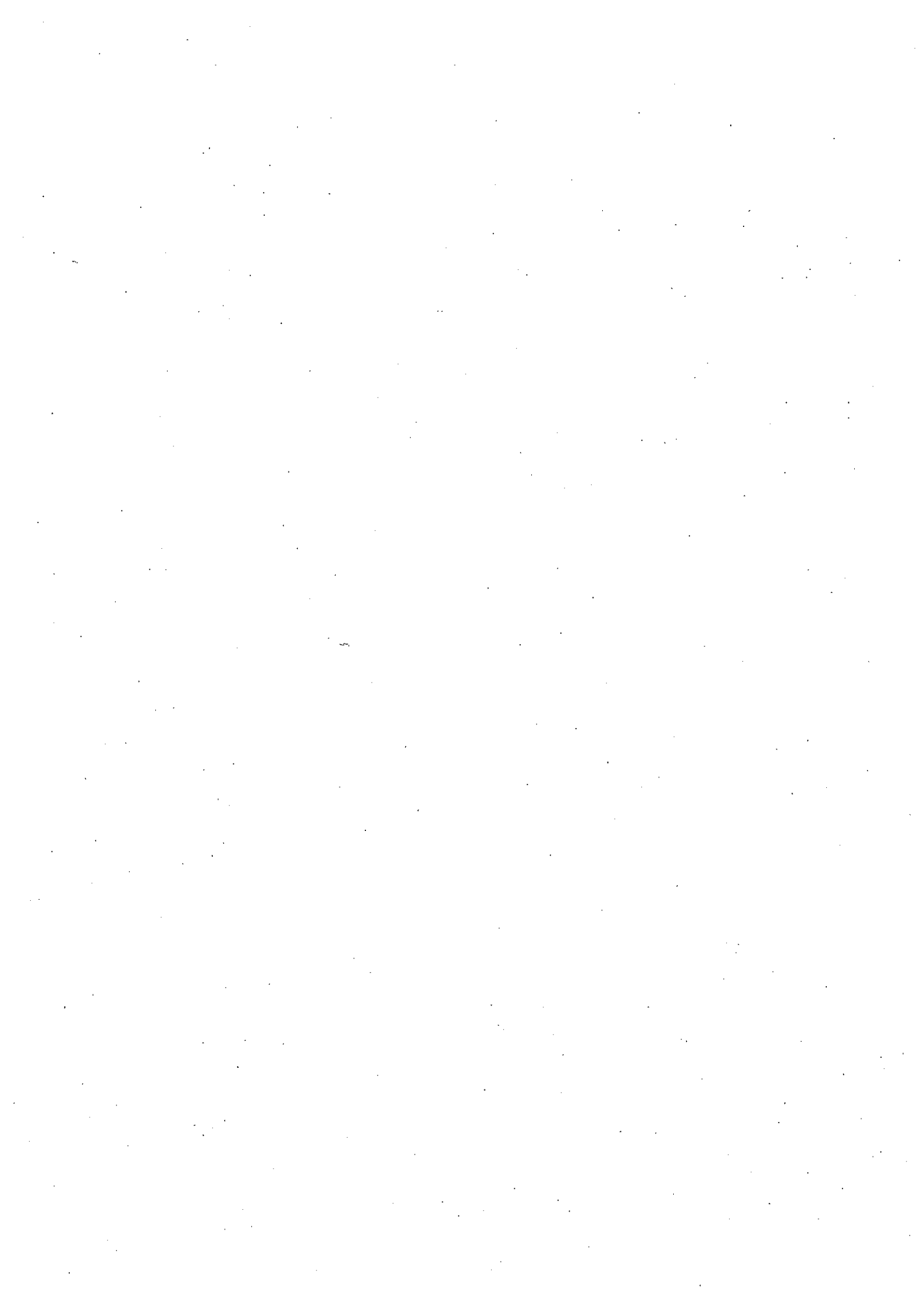


令和3年第7回

島田市教育委員会定例会

令和3年7月28日



令和3年第7回島田市教育委員会定例会日程

日時：令和3年7月28日（水）午後2時00分～

会場：六合公民館 第1集会室

1. 開 会
2. 会期及び会議時間の決定
3. 会議録署名人の指名
4. 教育部長報告
5. 事務事業報告
 - (1) 教育総務課
 - (2) 学校教育課
 - (3) 学校給食課
 - (4) 社会教育課
 - (5) 博物館課
 - (6) スポーツ振興課
 - (7) 図書館課
6. 付議事項
 - (1) 令和4年度から使用の中学校社会（歴史的分野）教科用図書の採択について
7. 協議事項
 - (1) 島田市立小中学校における特別支援学級の新設について
8. 次回教育委員会定例会における協議事項の集約について
 - (1) 事務局が提案するもの
 - (2) 各委員が提案するもの
9. 報告事項
 - (1) 令和3年6月分の寄附受納について（学校教育課）
 - (2) 令和3年6月分の生徒指導について
10. その他
 - ・ 会議日程について
 - 次回 第8回島田市教育委員会定例会
 - 日時 令和3年8月27日（金）午後2時00分～午後4時00分
 - 会場 プラザおおるり 第1多目的室（1階）
 - 次々回 第9回島田市教育委員会定例会
 - 日時 令和3年9月29日（水）午前10時00分～午後12時00分
 - 会場 プラザおおるり 第1多目的室（1階）
11. 閉 会

教育部長報告

一 般 質 問 (令和3年6月市議会定例会)

3. 3番 青山真虎 議員 (一問一答)

1. 今後のコロナの対応について

<質 問>

- (3) 子供たちの学校でのマスク着用と熱中症リスクについて、新型コロナウイルス感染症と熱中症が起きた場合の責任は学校長か市の教育委員会のどちらにあるか。他市の体育授業中マスク着用による死亡事故の説明をみると「子供の判断に任せていた」とあったが、当市もそのような体制か。

<答 弁>

学校では、季節や天候、活動状況等を考慮した上で、熱中症への対応やウイルス感染症対策を行い、工夫して様々な教育活動を展開しています。

学校の管理下において、新型コロナウイルス感染症や熱中症が発生した場合、それが文部科学省や県教育委員会の通知等に示された内容から逸脱した指導を行ったことが原因である場合は、市教育委員会や学校にも責任は生じます。

学校では、熱中症のリスクとウイルスの感染状況等に応じて、マスクの着脱の指導をしています。その上で、児童生徒自らが健康や安全の確保について適切な判断ができるよう、発達段階に応じた指導を行っています。

7. 18番 清水唯史 議員 (一問一答)

1. 市長が今後取り組むまちづくりの方向性について

染谷市長は3期目を目指すに当たり、後援会の内部での資料においては4年間の実績を示し、市長選挙において、「誰ひとり取り残すことなく、ここに住む人々の命と暮らしを守ります」、「子どもからお年寄りまで、だれからも選ばれるまちを創ります」、「多様性のある豊かな未来を先取りする、まちづくりにチャレンジします」など、今後の市政運営を法定ビラなどで示している。それぞれの取組を示しているが、今後の具体的な方向性について、以下質問する。

<質 問>

- (2) 「選ばれるまちを創る」取組について、小・中学生の更なるICT（情報通信技術）教育の充実に努めることにより、どのようなまちの魅力向上を目指すか伺う。

<答 弁>

ICT教育の充実に向け、昨年度市内全小中学校に1人1台端末の整備を完了しました。今年度は、児童生徒・教職員が端末を活用した授業に、各学校のスケジュールに沿って、取り組んでいます。

6月からは、ICT支援員を4校に1人の割合で配置し、端末の活用促進を支援しています。様々な分野でデジタル化が進む時代において、子供たちが端末を文房具の

一つとして活用できる力や情報モラルを育成していきます。

また、ICTの活用によって「個別最適な学び」と「協働的な学び」を充実させ、島田市が取り組んでいる「個に焦点を当てた授業づくり」を推進していきたいと考えます。そのために、デジタルトランスフォーメーション推進課等関係課と連携し、ICTを有効活用できる場면을更に広げていきます。

8. 5番 天野 弘 議員 (一問一答)

1. 北部の小学校の再編と学校跡地利活用について

北部地域の伊久美小学校、神座小学校、相賀小学校及び伊太小学校は、いずれも100年以上の歴史があり、地域の中心として、長年、地域住民に愛されてきた。しかしながら、近年の少子化の中、生徒数が激減し、令和元年度に策定された島田市立小中学校再編計画において、令和6年4月、北部4つの小学校が島田第一小学校に統廃合することが決定した。併せて学校施設跡地利活用検討委員会が設置され、統廃合後の学校跡地利活用の検討が進められている。そこで、以下質問する。

<質問>

(1) 令和6年4月の再編整備に向けた準備がどこまで進められているか。現時点でどのようなことが課題となっているか伺う。

<答 弁>

島田市立小中学校再編計画に基づき、昨年度、カリキュラム等検討委員会を設置し、学校間の交流活動を計画的に進めております。なお、同検討委員会では統合に向けた課題の洗い出しも行うこととしており、出てきた課題については、教育委員会も加わり調整を図っていきます。

また、5校の統合が決まったことに加え、耐力度調査の結果を踏まえ、島田第一小学校の校舎改築が確定しました。校舎改築事業の進捗については、昨年度基本設計を行い、今年度は実施設計を進めているところです。

<質問>

(2) 伊久美小学校は特認校に指定されているが、この特認校の取り扱いをどのようにする考えか伺う。

<答 弁>

昨年度、島田市総合教育会議で小規模特認校の取り扱いについて協議し、伊久美小学校が島田第一小学校に統合した後も、特認校としての制度を存続させることが決まりました。

また、候補地としては、学校や地域の特色を踏まえ、川根小学校か大津小学校のどちらかを考えています。

<質問>

(3) 廃校の跡地利用については、各自治会等の住民を交えた検討が重要と考える。現在の進捗がどのようになっているか伺う。

<答 弁>

令和元年8月に島田市立小中学校再編計画が策定された後、島田市学校施設跡地利活用検討委員会により、学校施設や敷地の跡地利用について協議を開始しました。

令和2年1月に、関係自治会の代表の皆様に対する説明会を開催し、地域を最優先とする学校施設跡地利活用の検討を依頼しました。

その後、地元説明会を行い、各自治会と市で連絡を取り合いながら、地元による利活用の検討を進めていただきましたが、各自治会から利活用案をお示しいただくまでには至っておりません。

現状については、各自治会の同意を得た上で、地域の実情やニーズを踏まえながら有効活用していくためのマッチングサイトである文部科学省の“みんなの廃校プロジェクト”に、北部の4小学校全てについて掲載し、企業等からの問い合わせを待つという状況となっています。

10. 20番 平松吉祝 議員 (一問一答)

1. コロナ禍の教育について

コロナ禍により、今までの暮らしや生活が一変し、当たり前であると思ってきたことが当たり前でなくなったり、様々な変化に対応していかななくてはならない状況が続いている。そのような中で憂うべきは、教育、子供たちの成育環境の変化である。私は昨年2月の市議会本会議において、教育行政のデジタル変革の推進についてを一般質問し、コロナ禍での早急な対応を求めた。1年が経過したが、現状と今後について、以下質問する。

<質問>

(1) 教育現場におけるコロナ対策マニュアルはあるか伺う。

<答弁>

新型コロナウイルス感染症対策としては、文部科学省から出されている衛生管理マニュアルに準じ、各校で感染症対策を講じています。また、学校関係者に感染が判明した時の対応については、市独自のマニュアルを作成し、迅速かつ適正な対応ができるようにしています。

<質問>

(2) 学校教育はコロナ禍でどのように変わったか伺う。

<答弁>

学校では、感染症対策をしながら、可能な範囲で、教育活動を行っています。例えば、大人数が集まる集会や身体の接触が多い教育活動はできるだけ行わないようにしています。また、教科の内容によっては、活動内容を変えながら、工夫して学習を行っています。

さらに、学校行事についても、従来と形を変え、感染状況等を見極めながら可能な範囲で行っています。

<質問>

(3) ICT推進の現状と今後について伺う。

<答弁>

ICT機器の整備については、令和2年度に学校から児童生徒へ配信するためのマイク付きカメラを154台、授業の効率性を高めるための大型提示装置及びスクリーンを各446台、児童生徒1人1台端末を合計7,875台購入しました。

また、端末機器を収納する充電保管庫や校内通信ネットワークを整備して児童生徒の学習環境を整えました。

今後は、学習をより効率的に進めるための方法を研究してまいりたいと考えております。

<質問>

(4) ICT支援員の整備はどうか伺う。

<答弁>

ICT支援員については、教育のICT化に向けた環境整備5か年計画に基づき、概ね4校に1人配置できるように学校現場で教員を支える6人の支援員と、彼らを統括するコーディネーター1人の合計7人の支援員を確保することとしました。

今年5月の入札で落札した㈱フューチャーインにより、6月から小中学校の支援に当たっています。

<質問>

(5) 市はコミュニティ・スクールや学校統合を模索していたが、経緯と現状、また今後についての考えを伺う。

<答弁>

まず、コミュニティスクールについては、令和2年度から全校に学校運営協議会を設置しました。令和2年度は、各学校、3回程度の学校運営協議会を開催しました。今後も、学校と地域との連携・協働という目的に向かい、地域学校協働本部のコーディネーターを活用し、地域人材を活用した体験活動を拡充していきたいと考えております。

続いて、学校統合については、令和元年8月に策定された「島田市立小中学校再編計画」に基づき、令和3年4月に湯日小学校と初倉小学校、北中学校と島田第一中学校がそれぞれ統合しました。

今後は、令和6年4月に、伊久美小学校、神座小学校、相賀小学校、伊太小学校及び島田第一小学校の統合を計画しています。

また、初倉南小学校と初倉小学校の統合については、昨年度、島田市立初倉地区小中学校再編方針検討委員会を設置しました。同委員会では、統合の時期や初倉中学校を含めた統合の形態について協議し、令和4年3月末までに方針を固めることとしています。

<質問>

(6) 子供たちの学校外における活動支援の現状と今後について伺う。

<答弁>

子どもたちの学校外での活動支援につきましては、スポーツ少年団や少年少女合唱団などの活動に対する補助金の交付や、活動場所の利用料を減免するなどの支援を行っております。

また、これらの団体に所属していない子どもに対しても、ジュニアスポーツクラブ

や図書館の体験型講座、博物館のワークショップ、サタデー・オープンスクール、しまだガンバ、誰でもロビーピアノなど、様々な活動事業を通じて、仲間づくりや自然体験、基礎体力の養成、スポーツや文化に親しむ機会の提供を行っています。

なお、今後につきましては、子どもたちの活動の選択肢を拡げるべく、引き続き多様なスポーツ・文化活動の機会提供を行ってまいります。

<質 問>

(7) 市の家庭教育支援体制の現状と今後について伺う。

<答 弁>

今年4月に、社会教育委員から、教育委員会の諮問を受けてまとめた「家庭教育の在り方」に関する提言書の提出を受けました。子供の発達段階に応じたアドバイスがわかりやすく提示されており、教育委員会としては、この提言書の内容を今後の家庭教育支援の施策に反映させていきたいと考えております。

家庭教育支援に係る施策としましては、各小学校で実施している家庭教育学級や、0歳から中学生までの子供の保護者を対象とした各種家庭教育講座等を実施しており、今後もこれらの施策の充実を図ってまいります。

<質 問>

(8) オビ・プロジェクト（市の伝承文化活動支援体制をICT推進と連動させ、子供たちの発想力や想像力を育てながら、情報発信していくこと）の創設を提案するがどうか。

<答 弁>

子供たちは、総合的な学習の時間や教科の学習で地域の伝統や文化について学び、学んだことを保護者や地域の方々に様々な方法で発信しています。

ICTを取り入れた発信については、子供たちの思いや発想を重視し、目的や相手に応じて取り入れていくことが可能だと考えます。

14. 7番 四ツ谷 恵 議員 (一問一答)

1. 平和行政について

本年1月22日に核兵器禁止条約が発効され、被爆者はもちろん核兵器廃絶を願う世界中の人々が喜び合うことができた。それは75年間、命がけで運動してきた被爆者たちにとっての大きな成果である。国連の中では、経済大国と呼ばれる核保有国は蚊帳の外におかれるという状況が生まれたが、核兵器を違法とする条約が発効したことは核兵器の終わりへの始まりという新しい局面に入っているといえる。しかし、被爆者の平均年齢は83歳となり、戦争の悲惨さ、命の尊さを語り継ぐ人も少なくなっている現在、市の平和への取組がますます重要になっており、その取組の充実を求め、以下質問する。

<質 問>

(2) 子供たちへの平和教育の実践について

① 市内の中学生に原爆と人間展のパンフレットの配布を求めるがどうか。

<答 弁>

平和教育については、社会科の歴史の授業や国語科の戦争文学を扱った授業等、主に教科学習を通して取り組んでいます。

パンフレットについては内容を確認させていただいた上で、教材の候補として、学校に情報提供できるのではないかと考えます。

<質問>

② 各学校で身近な教材として島田空襲のあった普門院の見学や物理学者の湯川秀樹、朝永振一郎が関わっていた牛尾地区の牛尾実験所跡地、第五福竜丸事件の焼津市関連施設等の見学など、生きた平和教育の実施を求めるがどうか。

<答弁>

戦争に深く関わった場所等を見学する学習は、子供たちにとって貴重な学びの機会になると考えられますが、授業時数等の関係もあり、学校の実状に応じて取り組んでいます。

<質問>

③ コロナ禍後を見据え、各中学校の代表を広島または長崎へ派遣する考えはないか。

<答弁>

中学生の代表者の派遣については、様々な行事の日程等を踏まえると、難しいと考えられますが、川根中学校では、修学旅行で長崎の平和公園を訪れたり、被爆体験をされた語り部の方の話を聞いたりしています。

<質問>

④ 被爆者または語り部を呼んでの講演を各学校で行うようにしたらどうか。

<答弁>

実際に戦争を体験した方の話を聞くことは、子供たちにとって貴重な学びの機会になると考えられます。授業や読み聞かせの時間等に、戦争の体験を語ってくださる地域の方を招いて、平和について学んでいる学校もあります。

2. 学校給食費の無償化について

学校給食は食育という教育の一環として実施されているが、給食費は保護者負担となっており、子育て世帯、特に多子世帯にとってかなりの負担額になっている。そもそも義務教育は無償であり、食育の観点から無償であるべきと考え、以下質問する。

<質問>

(1) 学校給食費の納入状況はどうか。

<答弁>

令和2年度の学校給食費の納入状況については、調定額4億2,856万3,862円のところ、収入額4億2,842万593円であり、収納率は99.97%となっています。

<質問>

(2) 当市の少子化に歯止めをかけ、子育てを経済的にも応援する施策の一つとして学校給食費の無償化は有効な施策と考えるがどうか。

<答弁>

学校給食に係る経費負担については、学校給食法により職員の人件費及び施設設備費等は市が負担し、残る食材費のみ保護者に負担していただいております。

無償化については、要保護、準要保護児童生徒といった困窮世帯に対し、生活保護費や就学援助費で給食費が支給されていることや、年間約4億円の市の負担が必要となることなどから、今のところ予定しておりません。

16. 15番 桜井洋子 議員 (一問一答)

2. 特別支援教育の充実について

特別支援学級について、拠点校方式(中学校区に小学校、中学校の指定校)をとっているため、学区を越えて通学している児童がいる。近年、対象児童数も増加傾向にあり、一人一人に行き届いた教育を受けさせるためには、拠点校の見直しが必要ではないかと考える。充実を求め、以下伺う。

<質問>

(1) 児童数が増加している小学校に、特別支援学級を置く必要があると考えるがどうか。

<答弁>

島田市は特別支援学級の拠点校化を進めてきました。拠点校方式は、複数の児童生徒が在籍することで、学級内の関わりが増え、学習や社会性の一層の成長が期待できることなどの利点が挙げられます。

現在、特別支援教育に対する理解が進み、特別支援学級の対象児童数が年々増加しています。そのため、新たな学校で特別支援学級を開設することも検討しています。

<質問>

(2) 現在、肢体不自由児が中学に進学する場合は、島田第二中学校に進学することになっている。必要性のあるところには、六合地区、初倉地区、金谷(川根)地区にも肢体不自由児の支援学級を設置すべきと考えるがどうか。

<答弁>

肢体不自由学級については、現在、校舎がバリアフリー化されている「六合小学校」と「島田第二中学校」に設置されております。

新設については、施設の改修のほか、「原則、一人開設は認められない」という課題があります。

<質問>

(3) 特別支援教育をどこで、どのように受けるかは、個々の発達に寄り添った適切な就学支援が必要である。幼児期から就労支援までを一体化した引継ぎシートを作成し、早期療育、学校教育、中学卒業後の進路に役立てる支援の充実が必要と考えるがどうか。

<答弁>

幼児期については、「しまいくファイル」で記録を残しています。このファイルは島田、焼津、藤枝三市である程度統一した形で作成し、就学先に引き継いでいます。市内の各園では就学にあたり、就学サポート票を作成し、小学校への確実な引継ぎをしています。

小・中学校では支援が必要な子供の「個別の教育支援計画」を作成し、学校と保護

者が連携を取ることで子供に適切な関わりができるようにしています。「個別の教育支援計画」を小中高に引き継ぐことで、継続した支援が行われるようにしています。

18. 12番 大関衣世 議員 (一問一答)

1. 不登校への支援について

小学校低学年の児童を持つ家族から不登校の相談を受けた。子供と向き合いながら、様々な解決策を模索している現状を伺う中で、家族にとって大きな心労となっていることを痛感した。令和元年度の静岡県の小学校の不登校等の状況は、全国平均よりも若干高く全体の1.05%で1,981人となっている。全国的には7年連続でその割合が増加し、憂慮すべき状況にある。この現状に対し、少しでも改善の糸口につながることを願い、以下伺う。

<質 問>

(1) 市の不登校の現状はどうか。

<答 弁>

毎月実施している市の不登校調査を参照すると、ここ数年の不登校児童生徒数は増加しています。

<質 問>

(2) 不登校への対応はどのように行われているか。

<答 弁>

不登校児童生徒には、学級担任が中心となって面談や家庭訪問等を実施しています。また、スクールソーシャルワーカーを配置し、ケース会議を実施したり、外部機関との連携を図ったりしています。

それ以外にも、スクールカウンセラーによる心理的な支援、教育センターによる学習のサポート等により、将来の学校復帰を目指しています。

<質 問>

(3) 今後、不登校の児童、生徒に対する支援はどのようなことをしていく予定か。

<答 弁>

引き続き、学校が、スクールソーシャルワーカーや外部機関と連携しながら、これまで以上に支援を充実させていきます。加えて、指導要録上出席扱いとできるものを、公的適応指導教室以外にも拡充することを検討していきます。

2. ヤングケアラーへの支援について

ヤングケアラーとは、家庭で両親や祖父母、兄妹の世話や介護をしている子供のことで、重い責任や負担を負うことで本人の成長や教育に影響があることが課題となっている。昨年、国がプロジェクトを立ち上げ、行われた実態調査の結果では、中学2年生で5.7% (約17人に1人) が、全日制の高校2年生で4.1% (約24人に1人) が、家族の世話や介護をしていると回答した。その中で「ほぼ毎日」と回答している中高生は5割弱に上り、一日平均7時間以上世話をしている中高生が約1割存在するという結果であった。本人にはヤングケアラーという自覚がないことも多く、子供らしい生活が送れず、誰にも相談で

きず一人で耐えている状況も伺える。今後、本格的な支援が始まろうとしている中で、まずは早期に発見、把握することが大切であり、学校現場での取組が初動となることから、以下伺う。

<質問>

(1) ヤングケアラーの現状はどのように把握しているか。

<答 弁>

現時点では、特にヤングケアラーに絞って、その実態を把握したことはありません。ただし、学校とスクールソーシャルワーカーが各家庭の実態の把握に努めています。

<質問>

(2) 教職員の認知度はどうか。

<答 弁>

これまでに県教育委員会からの関係文書を各校に通知するとともに、市教育委員会としても生徒指導担当者研修会において、ヤングケアラーの増加の現状についての研修を行いました。

<質問>

(3) 今後、このような事例に対して、どのように対応していく予定か。

<答 弁>

関係機関と連携する中で、早期発見・早期支援を進めていきたいと考えています。また、ヤングケアラーの支援としても、スクールソーシャルワーカーを活用したいと考えています。

議案質疑（令和3年2月市議会定例会）

議案第47号 令和3年度島田市一般会計補正予算（第3号）

1. 18番 清水唯史 議員

○歳出10款（説明書54・55ページ、概要書3・4ページ）

5項8目文化事業費中、金谷生きがいセンターWeb環境整備事業について

<質問>

(1) 環境整備の内容を伺う。

<答弁>

金谷生きがいセンターのWeb環境整備の内容につきましては、

これまでWeb接続環境のなかった夢づくり会館において、主に貸し部屋での無線利用を中心としたWeb環境の整備を行うものです。

<質問>

(2) この事業による新型コロナウイルス感染症への効果を伺う。

<答弁>

本事業による新型コロナウイルス感染症対応の効果につきましては、本整備により、リモートでの会議や研修会の開催、各種講座のオンライン開設などが可能となり、人の集まりが分散されるとともに広い範囲からの人流が抑制され、感染症拡大防止に寄与するものと見込んでおります。

2. 9番 藤本善男 議員

○歳出10款（説明書54・55ページ、概要書3・4ページ）

5項10目野外活動センター費中、野外活動センター感染拡大防止対策事業について

<質問>

(1) 山の家キャンプ場屋外トイレを改修するとのことだが、大便器を洋式に変える理由を伺う。

<答弁>

過日、全員協議会にてご説明申し上げましたとおり、この事業は新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金を活用し、コロナ禍でも利用が増えている野外活動センターキャンプ場に隣接した屋外トイレを改修するものです。

大便器を洋式にすることで、排せつ時及び洗浄時のウイルス飛散が抑えられ、感染リスクが低下するものと考えております。

<質問>

(2) 同施設以外のトイレ施設に対する感染症拡大防止対策はどのような状況か。

<答弁>

当施設のトイレ施設の改修状況につきましては、宿泊棟が平成26年度、センター

ハウスが平成28年度に、一部和式が残っていますが大便器の洋式化を実施しております。

また、キャンプ場以外の屋外トイレについては、センターハウス駐車場のトイレは和式が3か所、洋式が1か所となっており、多目的広場のトイレは和式が1か所、洋式が2か所となっております。

<質 問>

(3) 施設改修はどの程度の期間を要するか伺う。

<答 弁>

実際のトイレの改修期間、利用できない期間は、約2か月程度と考えております。

一般会計歳入歳出予算補正（6月市議会追加提案）

歳入

(款) 15 国庫支出金 (項) 2 国庫補助金 (単位：千円)

目	補正前の額	補正額	計
6 教育費国庫補助金	64,826	16,023	80,849

(款) 22 市債 (項) 1 市債 (単位：千円)

目	補正前の額	補正額	計
7 教育債	482,800	2,900	485,700

歳出

(款) 10 教育費 (項) 2 小学校費 (目) 2 学校建設費 (単位：千円)

事業名	事業概要	補正前の額	補正額	計
島田第四小学校改築事業	財源の組替え	621,231	0	621,231

事務事業報告

事務事業の概要

教育総務課

実施（6月24日～7月27日）

月 日	曜日	事 項	場 所
6月24日	木	第6回教育委員会定例会	プラザおおるり
7月2日	金	学校訪問	六合中
7月5日	月	学校訪問	初倉小、初倉南小
7月9日	金	第2回静西市町教育委員会教育長連絡協議会	掛川市
7月13日	火	教育委員会委員辞令交付式	市長応接室
7月15日	木	第3回島田市初倉地区小中学校再編方針検討委員会	初倉公民館

予定（7月28日～8月26日）

月 日	曜日	事 項	場 所
7月28日	水	第3回教育委員会臨時会及び第7回教育委員会定例会	六合公民館
7月29日	木	市町教育長研修会	藤枝市
8月2日	月	初倉地区小中学校再編方針検討委員会第四小学校新校舎見学会	第四小学校
8月3日	火	屋内運動場工事完成検査	第四小学校
8月25日	水	校舎、屋内運動場竣工式	第四小学校

事 務 事 業 の 概 要

学校教育課

実 施 (6月24日～7月27日)

月 日	曜日	事 項	場 所
6月26日	土	サタデーオープンスクール (参加者：26人)	伊久美地区
7月5日	月	移動教室 (第一小、相賀小)	伊久美小
7月8日	木	移動教室 (第二小、伊久美小)	伊久美小
7月13日	火	移動教室 (第二小)	伊久美小
7月14日	水	移動教室 (第三小、神座小)	伊久美小
7月9日	金	自然教室 (第一小)	
7月9日～ 7月10日	金 土	自然教室 (伊久美小)	
7月15日	木	島田の教育を語る会	
7月16日～ 7月17日	金 土	自然教室 (第三小)	
7月20日	火	島田市立学校カリキュラム等検討委員会 (第一小・伊太小・神座小・相賀小・伊久美小部会)	プラザおおるり
7月21日	水	一学期終業式 (第二小、第三小、大津小、伊太小、相賀小、神座小、伊久美小、第五小、六東小、五和小、第一中、第二中、六合中、初倉中、金谷中、川根中)	各校
7月24日	土	サタデーオープンスクール (参加者：13人)	伊久美地区
7月27日～ 7月28日	火 水	職場体験 (六合中)	

予 定 (7月28日～8月26日)

月 日	曜日	事 項	場 所
7月30日	金	サマーオープンスクール (参加予定：20人)	山の家
8月2日	月	サマーオープンスクール (参加予定：20人)	山の家
8月12日～ 8月16日	木 月	市立小中学校閉庁日	各校
8月25日	水	二学期始業式 (伊久美小)	
8月26日	木	二学期始業式 (第二小、伊太小、相賀小、 第五小、六東小、第一中、六合中)	

事務事業の概要

学校給食課

実施（6月24日～7月27日）

月 日	曜日	事 項	場 所
6月24日	木	献立会議（10月分）	中部学校給食センター
6月29日～ 6月30日	火 水	文化資源活用課・国際交流協会連携事業 オリンピックホストタウン シンガポール 応援献立 シンガポール料理の提供	中部学校給食センター
7月5日	月	第一回島田市立学校給食センター運営委員会	中部学校給食センター
7月8日	木	物資選定会（10月分）	中部学校給食センター
7月8日～ 7月9日	木 金	文化資源活用課・国際交流協会連携事業 オリンピックホストタウン モンゴル応援 献立 モンゴル料理の提供	中部学校給食センター 南部学校給食センター
7月15日	木	南部学校給食センター検食用冷凍庫・プレート殺菌庫購入事業入札 南部学校給食センターコンテナ購入事業入札	契約検査課
7月20日	火	第一学期学校給食最終日	南部学校給食センター
7月21日	水	第一学期学校給食最終日	中部学校給食センター
7月27日	火	夏休み学校給食センター施設見学会 (参加予定：20組45人)	中部学校給食センター

頁 19 / 43

予定（7月28日～8月26日）

月 日	曜日	事 項	場 所
8月20日	金	南部学校給食センター設備更新事業完成検査	南部学校給食センター
8月26日	木	島田市学校給食関係職員衛生研修会	六合公民館
		南部学校給食センター給排水管等取替工事 中間検査	南部学校給食センター
		献立会議（11月分）	中部学校給食センター

事務事業の概要

社会教育課

実施（6月24日～7月27日）

月 日	曜日	事 項	場 所
6月24日	木	家庭教育学級開講式 金谷小学校（6/24）（参加者：19人） 第二小学校（6/25）（参加者：25人） 六合小学校（6/25）（参加者：51人） 五和小学校（6/29）（参加者：32人）	金谷小学校 第二小学校 六合小学校 五和小学校
		初倉西部ふれあいセンター第1回運営委員会 (出席者：9人)	初倉西部ふれあいセンター
		川根地区センター 里山ウォーキング 「明ヶ平に行ってみよう！」 (参加者：18人)	川根地区センター
		第2回中央高齢者学級 「島田市災害なんでも教室」 (受講者：17人)	しまだ楽習センター
		六合公民館 社会教育講座 はじめてのスマートフォン講座 (受講者：8人)	六合公民館
		初倉公民館 短期講座 はじめてのスマートフォン講座 (受講者：10人)	初倉公民館
		第2回困難を有する子ども・若者に係る実務者会議 (出席者：12人)	プラザおおるり
		6月25日	金
6月26日	土	ベーゼンドルファーを弾こう ※指定管理者自主事業 (参加者：12人)	プラザおおるり
		初倉公民館 社会教育講座 「健康体操」 (第4土曜日、全8回) (受講者：23人)	初倉公民館
6月27日	日	金谷公民館 親子クラシックコンサート (参加者：2回公演50人、46人)	金谷公民館

月 日	曜日	事 項	場 所
6月27日	日	六合公民館 社会教育講座 「子供チャレンジクラブ 開校式 第1回 学習」(月1回 土曜日、全8回) 6月～2 月 科学、抹茶、料理、いけなな、スポーツ他 (受講者:77人)	六合公民館
		初倉公民館 社会教育講座 「男の料理」(第4日曜日、全7回) (受講者:18人)	初倉公民館
7月1日	木	子育て広場「ぐう・ちよき・ぱあ」 (参加者:11組23人)	第一中学校
		六合公民館 社会教育講座 「和菓子講座」(全2回、第2回7/15) (受講者:9人)	六合公民館
		六合公民館 社会教育講座 「やさしいヨガ講座(託児付き)」 (全3回、第2回7/15、第3回7/29) (受講者:6人、託児1人)	六合公民館
		公民館及び公民館類似施設、学校施設開放 事業 公共施設等案内・予約システム運用開始	公民館及び類似施 設8館、小中学校 8校
7月3日	土	金谷公民館 げんきキッズわくわくクラブ 「元気にうたいましょ②」(③7/17) (参加者:12人)	金谷公民館
		親子ふれあい講座 「タケちゃん先生と親子であそぼう！」 (受講者:32組64人)	ローズアリーナ サブアリーナ
7月4日	日	六合公民館 施設予約システム説明会 (参加者:33人)	六合公民館
7月5日	月	不登校やひきこもりの回復を考える家族教 室 (参加者:10人)	市役所会議棟
7月7日	水	川根地区センター 市民学級 「マイバック講座1」 (参加者:15人)	川根地区センター
		はつくら寺子屋(初倉南小学校) (参加者:17人)	初倉南小学校

月 日	曜日	事 項	場 所
7月8日	木	幼児期家庭教育講座(2回連続講座) 2回目 スマホのある子育て (受講者:25人)	プラザおおるり
		初倉公民館 あゆみ学級(市民学級)講座 「大井川寄席七月公演」 (受講者:17人)	大井川文化会館 ミュージコ
		六合公民館 社会教育講座 「男の料理教室」2/8回 (受講者:15人)	六合公民館
		第3回中央市民学級 「張り子の作成講座」 (受講者:16人)	しまだ楽習センタ ー
		第1回大津っ子をみんなで育てる協議会 (出席者:13人)	大津農村環境改善 センター
		地域学校協働本部運営委員会 (出席者:10人)	市役所会議棟
7月9日	金	青少年育成支援センター運営協議会 第2回運営委員会 (出席者:14人)	市役所会議棟
		六合公民館 市民学級 「健康料理講座」 (受講者:24人)	六合公民館
		初倉公民館 第1回運営審議会 (出席者:5人)	初倉公民館
7月10日	土	金谷公民館 げんきキッズわくわくクラブ 「森のクラフト」 (参加者:9人)	金谷公民館
7月14日	水	金谷公民館 市民学級(かなや未来塾)・ おやじの井戸端講座 合同学習会 法律講座「災害の保障について」 講師:高橋法務官 (受講者:30人)	金谷公民館
		はつくら寺子屋(初倉小学校) (参加者:22人)	初倉公民館
7月16日	金	はつくら寺子屋夏休み補習(初倉小) (7/19) (参加者:17人)	初倉小学校

月 日	曜日	事 項	場 所
7月16日	金	初倉公民館 生涯学級（高齢者学級）講座 「ギターで進める笑いヨガ」 (受講者：77人)	初倉公民館
		夏季一斉少年補導・立入調査・夏季研修会 (参加者：145人)	プラザおおるり他 各学区会場
7月17日	土	六合公民館 社会教育講座 「六合子どもチャレンジクラブ」 (月1回 土曜日、全8回) 6月～2月 科学、抹茶、料理、いけなな、スポーツ他 (受講者：72人)	六合公民館
		はばたけリーダー！2021第4回活動 「普通救命講習」 (参加者：11人)	プラザおおるり
7月19日	月	第3回困難を有する子ども若者に係る実務 者会議 (出席者：12人)	市役所会議棟
7月20日	火	はつくら寺子屋夏休み補習（初倉南小） (7/21) (参加者：25人)	初倉南小学校
		金谷公民館 「はじめてのスマートフォン 講座」 (受講者：9人)	金谷公民館
7月23日	金	おおるりホールでピアノを弾こう ※指定管理者自主事業 (参加者：14人)	プラザおおるり
7月26日	月	金谷公民館 げんきキッズわくわくクラブ 「ニュースポーツをやってみよう①スポー ツウェルネス吹矢」 (参加者：1人)	金谷体育センター
7月27日	火	金谷公民館 げんきキッズわくわくクラブ 「宿題なんかやっつけちゃえ！①」 (参加者：11人)	金谷公民館

予 定 (7月28日～8月26日)

月 日	曜日	事 項	場 所
7月28日	水	金谷公民館 げんきキッズわくわくクラブ 「宿題なんかやっつけちゃえ!②」 (③、④7/29、30) (参加予定:20人)	金谷公民館
7月29日	木	第3回中央高齢者学級 「大井川と島田宿の歴史講座」 (受講予定:21人)	しまだ楽習センター
		川根地区センター すこやか学級 「脳も身体も生き生き元気に講座」 (参加予定:25人)	川根地区センター
		金谷公民館 げんきキッズわくわくクラブ 「夏休み囲碁教室①」(7/31、8/5、7、 12、14、19、21、全8回) (参加予定:5人)	金谷公民館
		北部ふれあいセンター 社会教育講座 「キッズフィットネス」 (参加予定:4人)	北部ふれあいセンター
7月31日	土	金谷公民館 げんきキッズわくわくクラブ 「元気にうたいましょう④」 (参加予定:5人)	金谷公民館
		金谷公民館 げんきキッズわくわくクラブ 日本の伝統文化「盆石」 (参加予定:15人)	金谷公民館
8月1日	日	はばたけリーダー!2021第5回活動 「ささまデーキャンプ」 (参加予定:10人)	山村都市交流センターささま
		青年ボランティア講座第6回活動 「ささまデーキャンプ」 (参加予定:5人)	山村都市交流センターささま
		しまだガンバ!第4回活動 「ささまデーキャンプ」 (参加予定:33人)	山村都市交流センターささま
		金谷公民館 げんきキッズわくわくクラブ 「おはなしの世界を楽しもう(工作編)」 (参加予定:20人)	金谷公民館

月 日	曜日	事 項	場 所
8月1日	日	金谷公民館 げんきキッズわくわくクラブ 「自然・合宿体験（夏バージョン）1泊2日」 (参加予定：12人)	野外活動センター 山の家
8月4日	水	ゆったり座談会（不登校やひきこもりの回復を考える家族教室） (参加予定：5人)	市役所会議棟
		第3期初めて0歳児をもつ親の講座 全4回（8/4, 8/11, 8/18, 8/25） (受講予定：10組20人)	保健福祉センター
8月5日	木	第4回中央市民学級 「終活講座—自分らしく最期まで生きるために」 (受講予定：19人)	しまだ楽習センター
		子育て広場「ぐう・ちょき・ぱあ」 (参加予定：15組30人)	第一中学校
		金谷公民館 夏休み子どものための科学マジック (参加予定：15人)	金谷公民館
		ペアレントサポーター定例会④ (出席予定：6人)	第一中学校 地域連携室
		伊久身農村環境改善センター 高齢者学級 「交通安全教室と防犯教室」 (参加予定：28人)	伊久身農村環境改善センター
8月6日	金	初倉西部ふれあいセンター 社会教育講座 子ども科学教室 「空気砲をつくろう」 (参加予定：20人)	初倉西部ふれあいセンター
		金谷公民館 高齢者ドライバーの法律講座 (参加予定：30人)	金谷公民館
8月7日	土	初倉公民館 里の楽校 「エコラップを作ろう」 (参加予定：10人)	初倉公民館
8月8日	日	おおるりホール2台のピアノDAY ※指定管理者自主事業 (参加予定：10人)	プラザおおるり
8月10日	火	伊久身農村環境改善センター 社会教育講座 「夏休み科学教室」 (参加予定：10人)	伊久身農村環境改善センター

月 日	曜日	事 項	場 所
8月11日	水	川根地区センター 市民学級 「マイバック講座2」 (受講予定：15人)	川根地区センター
		市町人権教育連絡協議会研修会第2回社会 教育部会 「(仮) 防災×人権教育」 (出席予定：1人)	掛川市役所
8月16日	月	第4回困難を有する子ども・若者に係る実 務者会議 (出席予定：14人)	市役所会議棟
8月19日	木	北部ふれあいセンター 社会教育講座 「リラックス ヨガ」 (参加予定：13人)	北部ふれあいセン ター
8月20日	金	六合公民館 市民学級 手芸「パッチワーク・キルト」 (受講予定：24人)	六合公民館
8月21日	土	郷土の芸能を観る会「命の音色・響け心 へ」 —HARERUYA— (津軽三味線ハレルヤ) ※文化協会主催事業 (参加予定：300人)	プラザおおるり
		六合公民館 社会教育講座 「六合子どもチャレンジクラブ」 (月1回 土曜日、全8回) 6月～2月 科学、抹茶、料理、いけなな、スポーツ他 ※科学は島田工業高校の機械科生徒が講師 となる 特別親子講座「金属折り鶴を作ろう」 (受講予定：89人)	六合公民館
8月22日	日	芸術文化普及事業「ハンド・シャドー・シ ョー」 (劇団かかし座による手影絵公演) (参加予定：300人)	金谷生きがいセン ター
8月24日	火	北部ふれあいセンター 高齢者学級 「地域交通安全講習会」 (参加予定：23人)	北部ふれあいセン ター
8月25日	水	しまだ大井川あいさつの風プロジェクト (参加予定：5人)	伊久美小学校

月 日	曜日	事 項	場 所
8月25日	水	初倉西部ふれあいセンター 社会教育講座 「大人の詩集教室」 (参加予定：20人)	初倉西部ふれあいセンター
8月26日	木	第4回中央高齢者学級 「健康体操」 (受講予定：21人)	しまだ楽習センター
		北部ふれあいセンター 社会教育講座 「キッズフィットネス」 (参加予定：4人)	北部ふれあいセンター
		東海道金谷宿大学第2回理事会 (出席予定：7人)	金谷公民館
		しまだ大井川あいさつの風プロジェクト (参加予定：12人)	伊太小学区ほか1箇所

事務事業の概要

博物館課

実施（6月24日～7月27日）

月 日	曜日	事 項	場 所
4月10日～ 7月4日	土 日	収蔵・企画展 「カワゴシ だもんで ～愛と絆の川場ス トーリー～」	博物館本館
6月30日	水	市政出前講座「ふれあいしまだ塾」 島田の歴史（江戸時代の島田） （参加者：28人） 島田の歴史（近現代の島田） （参加者：28人）	島田樟成高校
7月3日～ 9月26日	土 日	収蔵品展 「海野光弘 ニッポン 南へ北へ」	博物館分館
7月4日	日	ちょっと昔のおもしろ体験 （参加者：15人）	博物館分館
7月9日	金	市政出前講座「ふれあいしまだ塾」 島田の埋蔵文化財 （参加者：107人）	六合小学校
7月11日	日	しまはくワークショップ 「わくわくアトリエ」 （参加者：28人）	博物館本館
7月17日～ 10月3日	土 日	収蔵品展 「ひそやかな恋心 髪飾りが語る淑女のあ こがれ」	博物館本館
7月17日	土	海野光弘展 ギャラリートーク ～制作裏話Vol. 2～ （参加者：8人）	博物館分館
7月18日	日	博物館講座 「海野光弘版画はどんな線？～版画のいろ いろ」 （参加者：10人）	博物館本館
7月24日	土	収蔵品展関連イベント 講演会「未来に伝える 日本髪と島田髷ま つりの伝統」 （参加者：18人）	博物館本館

予 定 (7月28日～8月26日)

月 日	曜日	事 項	場 所
7月3日～ 9月26日	土 日	収蔵品展 「海野光弘 ニッポン 南へ北へ」	博物館分館
7月17日～ 10月3日	土 日	収蔵品展 「ひそやかな恋心 髪飾りが語る淑女のあ こがれ」	博物館本館
7月27日～ 7月28日	火 水	中学生職場体験 (金谷中) (参加予定：3人)	博物館本館・分館
7月29日	木	諏訪原城跡整備委員会 (参加予定：17人)	工作室
7月29日～ 8月5日	木 木	博物館実習 (大学生) (参加予定：5人)	博物館本館・分館
7月30日	金	夏休み体験学習 「スイーツデコ 小物入れをデコしよう」 (参加予定：30人)	博物館本館
7月31日	土	収蔵品展「ひそやかな恋心 髪飾りが語る 淑女のあこがれ」ギャラリートーク「時を 越える装飾のたのしみ」 (参加予定：20人)	博物館本館
7月31日～ 8月1日	土 日	夏休み体験学習 「みんなで楽しく機織り」 (参加予定：32人)	礼場
8月3日～ 8月4日	火 水	夏休み体験学習 「志戸呂焼陶芸教室」 (参加予定：40人)	工作室
8月5日	木	博物館協議会 (参加予定：12人)	プラザおおるり 第一会議室
8月6日	金	夏休み体験学習 「コインが消える！？貯金箱」 (参加予定：30人)	工作室
8月7日～ 8月8日	土 日	夏休み体験学習 「親子でかんたん染物」 (参加予定：40人)	工作室
8月9日	月	夏休み体験学習 「つまみ細工で素敵な髪飾り」 (参加予定：20人)	工作室

月(日)	曜日	事 項	場 所
8月15日	日	博物館講座 「自分の線を引っかく～自作版画制作①」 (参加予定：15人)	工作室
8月22	日	県民の日協賛 無料開放日&ナイトミュージアム「しまはくへ行こう!!」	博物館本館・分館 ・川会所・札場・ 各番宿他
		夏休み体験学習 「貝殻をデコレーション 夏のフォトフレーム」 (参加予定：12人)	工作室

事務事業の概要

スポーツ振興課

実施（6月24日～7月27日）

月 日	曜日	事 項	場 所
6月26日	土	ジュニアスポーツクラブ ミニバスケットボール (参加者：20人)	第三小学校体育館
6月29日	火	ワンバウンドふらば～る教室 ※毎週火曜 全5回 (参加者：10人)	川根体育館
7月1日	木	夜間照明施設受付（8月分） 無料体験ママさん教室 (参加者：14人)	市役所会議棟 金谷体育センター
7月4日	日	静岡県スポーツ推進委員実技研修会	富士市
7月6日	火	ワンバウンドふらば～る教室 ※毎週火曜 全5回 (参加者：10人)	川根体育館
7月7日	水	金谷地区体育施設集中受付（9月分）	金谷体育センター
7月13日	火	ワンバウンドふらば～る教室 ※毎週火曜 全5回 (参加者：9人)	川根体育館
7月14日	水	第22回静岡県市町対抗駅伝競走大会 第2回実行委員会兼代表候補選手選考会	市役所会議棟
7月16日	金	ママさん教室 ※毎週金曜 全5回 (参加者：4人)	金谷体育センター
7月20日	火	ワンバウンドふらば～る教室 ※毎週火曜 全5回 (参加者：10人)	川根体育館
7月21日	水	スポーツ推進委員定例会 (参加者：25人)	川根支所
7月23日	金	ママさん教室 ※毎週金曜 全5回 (参加者：5人)	金谷体育センター
7月26日～ 8月11日	月 水	夏休み小学校プール一般開放	市内小学校15校
7月27日	火	ワンバウンドふらば～る教室 ※毎週火曜 全5回 (参加者：20人)	ローズアリーナ

月 日	曜日	事 項	場 所
7月1日～ 7月15日 ※全8回	木 木	<p>予約システム地区別調整会議</p> <p>内容：利用者間の話し合いによる利用日の調整会議</p> <p>対象：学校体育施設・ナイター施設の定期的な利用者</p> <p>地区：ア 島田地区ナイター イ 第一中学区 ウ 初倉中学区 エ 第二中学区 オ 金谷中学区・金谷地区ナイター カ 六合中学区 キ 旧北中学区 ク 川根中学区</p>	<p>市役所会議棟 プラザおおるり 初倉公民館 プラザおおるり 金谷公民館</p> <p>六合公民館 北部ふれあいセンター 川根地区センター</p>

予 定 (7月28日～8月26日)

月 日	曜日	事 項	場 所
7月28日	水	第22回静岡県市町対抗駅伝競走大会 代表候補選手説明会 (参加予定：100人)	プラザおおるり
7月30日	金	ママさん教室 ※毎週金曜 全5回 (参加予定：30人)	金谷体育センター
8月3日	火	夜間照明施設受付(9月分) ワンバウンドふらば～る教室 ※毎週火曜 全5回 (参加予定：30人)	市役所会議棟 ローズアリーナ
8月6日	金	ママさん教室 ※毎週金曜 全5回 (参加予定：30人)	金谷体育センター
8月17日	火	ワンバウンドふらば～る教室 ※毎週火曜 全5回 (参加予定：30人)	ローズアリーナ
8月18日	水	ニュースポーツ教室 (参加予定：30人)	川根体育館
8月19日	木	スポーツ推進委員定例会 (参加予定：28人)	川根支所
8月22日	日	静岡県スポーツ推進委員研究大会 (参加予定：12人)	森町
8月24日	火	ワンバウンドふらば～る教室 ※毎週火曜 全5回 (参加予定：30人)	ローズアリーナ
8月25日	水	ニュースポーツ教室 (参加予定：30人)	川根体育館

事務事業の概要

図書館課

実施（6月24日～7月27日）

月 日	曜日	事 項	場 所
4月29日～ 7月18日	木 日	本のテイクアウト	島田図書館 金谷図書館 川根図書館
5月29日～ 6月30日	土 水	環境月間特集展示	島田図書館
6月1日～ 6月30日	火 水	特集コーナー設置 一般：「戦国から江戸の静岡（今川・徳川・井伊）」 児童：「雨」	島田図書館
		特集コーナー設置 一般：「男女共同参画」 児童：「おとうさん、雨・カエル、戦争」 「クローバーチャレンジの本」	金谷図書館
		特集コーナー設置 一般：「おいしい漬物」 児童：「おとうさんだいすき！」 「雨」	川根図書館
6月11日～ 7月3日	金 土	教科書展示会	島田図書館
6月24日	木	おはなし宅配便 (参加者：14人)	伊久身幼稚園
6月24日～ 7月13日	木 火	展示コーナー（静岡河川事務所島田出張所）「大井川の歴史」	金谷図書館
7月1日～ 7月31日	木 土	特集コーナー設置 一般：「お家で飼える生き物（小さい動物）」 児童：「夏はキラキラ（海・川・キャンプ）」	島田図書館
		特集コーナー設置 一般：「涼を誘う本 夏バテ対策本」 児童：「スポーツの本」 「妖怪・こわ～い本」 「自由研究・読書感想文」	金谷図書館

月 日	曜日	事 項	場 所
7月1日～ 7月31日	木 土	特集コーナー設置 一般：「健康法」 児童：「戦争の本～平和を祈って～」	川根図書館
7月1日～ 8月29日	木 日	課題・読書感想画図書の貸出	島田図書館 金谷図書館 川根図書館
7月1日～ 8月31日	木 火	ほんのむしカード	島田図書館 金谷図書館 川根図書館
7月6日	火	ブックスタート (参加者：24人)	保健福祉センター
		高齢者おはなし会 (参加者：10人)	ふれあい健康プラザ
7月13日	火	ブックスタート (参加者：24人)	保健福祉センター
7月14日	水	第三小施設見学 (参加者：46人)	島田図書館
7月15日～ 8月3日	木 火	展示コーナー 「デコラティブトールペインティング展」	金谷図書館
7月25日～ 8月12日	日 木	「島田市平和祈念事業実行委員会高校生企画 平和七夕」の設置	島田図書館 金谷図書館 川根図書館

予 定 (7月28日～8月26日)

月 日	曜日	事 項	場 所
7月1日～ 7月31日	木 土	特集コーナー設置 一般：「お家で飼える生き物（小さい動物）」 児童：「夏はキラキラ（海・川・キャンプ）」	島田図書館
		特集コーナー設置 一般：「涼を誘う本 夏バテ対策本」 児童：「スポーツの本」 「妖怪・こわ～い本」 「自由研究・読書感想文」	金谷図書館
		特集コーナー設置 一般：「健康法」 児童：「戦争の本～平和を祈って～」	川根図書館
7月1日～ 8月29日	木 日	課題・読書感想画図書の出出	島田図書館 金谷図書館 川根図書館
7月1日～ 8月31日	木 火	ほんのむしカード	島田図書館 金谷図書館 川根図書館
7月15日～ 8月3日	木 火	展示コーナー 「デコラティブツールペインティング展」	金谷図書館
7月25日～ 8月12日	日 木	「島田市平和祈念事業実行委員会高校生企画 平和七夕」の設置	島田図書館 金谷図書館 川根図書館
7月29日	木	一日体験図書館員① (参加予定：2人)	島田図書館
7月30日	金	一日体験図書館員② (参加予定：各館2人)	島田図書館 川根図書館
8月1日～ 8月31日	日 火	特集コーナー設置 一般：「親子で〇〇」 児童：「おばけ大集合」	島田図書館
		特集コーナー設置 一般：「涼を誘う本 夏バテ対策本」 児童：「スポーツの本」 「妖怪・こわ～い本」 「自由研究・読書感想文」	金谷図書館

月 日	曜日	事 項	場 所
8月1日～ 8月31日	日 火	特集コーナー設置 一般：「俳句」 児童：「なつのおとずれ（むしとり・たべ もの・おばけ）」	川根図書館
8月3日	火	ブックスタート 一日体験図書館員③ (参加予定：2人)	保健福祉センター 島田図書館
8月4日	水	一日体験図書館員④ (参加予定：各館2人) 夏休み子ども映画会① (参加予定：30人)	島田図書館 金谷図書館 金谷公民館
8月5日～ 8月6日	木 金	金谷中学校生徒職場体験 (参加予定：1人)	島田図書館
8月5日～ 8月24日	木 火	展示コーナー 「木彫作品展」	金谷図書館
8月6日	金	一日体験図書館員⑤ (参加予定：2人)	金谷図書館
8月11日	水	川根中学生図書館ボランティア (参加予定：15人)	川根図書館
8月12日～ 8月13日	木 金	金谷中学校生徒職場体験 (参加予定：2人)	金谷図書館
8月17日	火	ブックスタート	保健福祉センター
8月18日	水	おはなし宅配便 (参加予定：25人)	大津保育園
8月19日	木	おはなし宅配便 (参加予定：78人)	第一保育園
8月26日	木	夏休み子ども映画会② (参加予定：30人)	金谷公民館
8月26日～ 9月14日	木 火	展示コーナー 「さくら書の会」	金谷図書館

島田市教育委員会定例会議案

議案第31号

令和4年度から使用の中学校社会（歴史的分野）教科用図書の採択について

令和4年度から使用の中学校社会（歴史的分野）教科用図書の採択について、義務教育諸学校の教科用図書の無償措置に関する法律第13条第5項及び同法施行令第14条第1項の規定に基づき、別紙掲載の教科用図書を志太地区教科用図書とすることに同意する。

令和3年7月28日提出

島田市教育委員会教育長 濱田和彦

別 紙

令和4年度から使用中学校社会（歴史的分野）教科用図書

（志太地区採択案）

種 目 名	発行者名（略称）
社会（歴史的分野）	教育出版（教出）

志太地区採択連秘第12号
令和3年7月9日

島田市教育委員会 様

志太地区教科用図書採択連絡協議会長

令和4年度から使用中学校社会（歴史的分野）教科用図書の採択について（協議）

このことについて、志太地区教科用図書採択連絡協議会の協議に基づき、中学校において別紙のとおり教科書を採択したいと考えます。

ついては、このことに関し、貴教育委員会の御意見を伺います。



協 議 事 項

島田市立小中学校における特別支援学級の新設について

島田市立小中学校における特別支援学級の新設について別紙のとおり協議します。

島田市立小中学校 特別支援学級の新設について

学校教育課

R3.7.28

1 経緯

島田市では平成22年度より特別支援学級の拠点校化を実施してきたが、特別支援教育の理解が進み、特別支援学級への入級を希望する児童生徒が増加してきた。

これに伴い、拠点校においては特別支援学級数が増え、令和2年度には、1校が6学級の特別支援学級を有するなど、施設上、児童生徒の収容に困難が生じてきた。

このことから、島田市内においては、現在、中学校区における拠点校拡充の必要性が求められている。

2 新設について

(1) 新設の条件

ア 特別支援学級への入級を希望する児童生徒が複数いる。(原則、一人開設は認められない。また、複数年在籍する見込みがあることが必要。)

イ 特別支援学級を新設するための教室を確保できる。

ウ 今後、複数年を見通した時、特別支援学級の存続が予想できる。

(2) 拡充学区と新設予定校

ア 特別支援学級数が増加している「島田第一小学区」「島田第四小学区」「六合小学区」について拡充を検討する。新設予定校は「島田第二小」「島田第三小」「島田第五小」「大津小」「六合東小」とする。

(3) 新設に向けた経緯

2(1)アの条件を確認するために、アンケートと保護者への面談を実施した。

ア アンケートの実施

「新設校在籍全保護者(6年生除く外)」と「現在特別支援学級に在籍する新設校在籍保護者」を対象に、「新設校への入級希望」についてアンケートを実施した。

イ 保護者との面談

新設予定校の保護者のうち、新規に入級を希望する保護者一人一人に面談を行い、入級に係る確認を行った。

ウ 候補校の決定

2(1)の条件と2(3)アとイの結果から、(4)候補校を挙げる。

(4) 候補校

ア 六合東小

(ア) 拠点校の状況

現在、六合小特別支援学級が6学級。これ以上、入級希望者が増加した場合は教室を確保することが難しい。六合東小学区在住者の中に、可能ならば六合東小に入級したいと考えている保護者がいる。

(イ) 希望状況と児童数

6月現在、知的学級(3人)の、新設の可能性はある。

- ・六合小知的学級在籍児童3人（1年1人、3年2人）が、六合東小特別支援学級への転学を希望

(ウ) 施設・教室

六合東小で新設する場合、各学年にある学習室やパソコン室を利用したいと考えている。今後の六合東小の入学児童を見ると、70名以上の学年があり、1学年3学級になる学年が予想される。新設にあたって、状況によって対応できる学習室での開設がよいと考える。

(エ) 予測する数年後の状況

入級児童の学年から推測すると、毎年、児童が在籍する可能性が高い。

イ 大津小

(ア) 拠点校の状況

現在、特別な支援を要する大津小学区の子供は、島田第四小に通学している。大津小に特別支援学級ができれば、入級したいと考えている保護者がいる。

(イ) 希望状況と児童数

6月現在、知的学級の開設の可能性はある。（3人～5人）

- ・島田第四小知的学級在籍児童1人（4年）が、大津小への転学を希望。
また、該当兄弟1人（2年）も対象者。今後、入級の検討が予想される。
- ・大津小在籍児童2人が、知的または自閉情緒かを検討中。
- ・来年度入学園児2人が、知的学級への入級を希望。

(ウ) 施設・教室

大津小では学級数が減少しているため、今まで教室として使用していた部屋がいくつかある。新設にあたっては、その教室を使用できる。

(エ) 予測する数年後の状況

島田第四小に在籍する大津小学区の子供が多くいる。また、今後も大津小在籍児童からの入級希望が継続するものと予想する。

ウ 島田第五小

(ア) 拠点校の状況

現在、六合小特別支援学級が6学級。これ以上、入級希望者が増加した場合は教室を確保することが難しい。島田第五小学区在住者の中に、設置されれば島田第五小に入級したいと考えている新入学児の保護者がいる。

(イ) 希望状況と児童数

7月現在、知的学級の開設の可能性はある。（3人～5人）

- ・来年度入学園児3人が、知的学級への入級を希望している。
1名は、島田第五小にできたら入級したいが他校の支援級は迷う。
他2名は、島田第五小なら入級する。他の支援級について検討中。
- 他2名は、現在のところ通常級を希望している。

(ウ) 施設・教室

島田第五小では、教室の確保が難しい状況ではある。パソコン室や学年室等使用できないか、検討していく。

(エ) 予測する数年後の状況

島田第五小に在籍する児童の中に、対象となる児童は見られる。島田第五小学区から六合小や島田第四小の特別支援学級に在籍している児童も多いことから、今後も対象は継続するものと思われる。

3 今後の予定

年度	月	内容
3	7	候補校との打合わせ・確認（六合東小・大津小・島田第五小）
	7.15	島田の教育を語る会で協議
	7.28	教育委員会定例会で協議
	8	市長ヒア
	9	県の定数調査（9月調べ）に申請する。ここで申請しないと新設することはできない。該当園児・児童は、必ず市就学支援委員会で審議し、入級可能にしておく。
3	12	入級者確定。県へ新設書類を提出する。

4 今後の該当校の児童推移（人数（クラス数））

(1) 新入学児

	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
島田第五小	48 (2)	54 (2)	50 (2)	53 (2)	60 (2)	52 (2)
六合小	98 (3)	89 (3)	86 (3)	97 (3)	76 (3)	82 (3)
六東小	64 (2)	54 (2)	55 (2)	77 (3)	48 (2)	56 (2)

- 対象学区においては、宅地造成が続いており、今後も児童数の増加が見込まれる。六合小では、令和4年度と令和7年度が4クラスになる可能性もある。六合東小は令和7年度に3クラスが見込まれる。六合地区においては、六合小、六合東小、六合中すべての学校で、教室の確保が課題となる。

(2) 全体のクラス数（六合小 特別支援級含む）

	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
島田第五小	12	12	12	12	12	12
六合小	26	26	26	26	25	24
六東小	14	13	13	14	13	13

- 島田第五小と六合東小に特別支援学級が新設されたら、プラス1クラスまたは2クラス増となる。六合小が4クラスの学年が出るとクラス数が増加する。

次回教育委員会定例会における
協議事項の集約

報 告 事 項

令和3年6月分の寄附受納について

寄附受納したので、次のとおり報告します。

<物品>

受入先	品名	数量	金額	寄附者
市内小学校	絵本（おしえて！ くもくん「プライ ベートゾーンって なあに？」）	34 冊	44,880 円	島田地区更生保護女性会 （会長 小沢 玉子）
計			44,880 円	

令和3年6月分の生徒指導について

令和3年6月分の生徒指導について、別紙のとおり報告します。